

2024年 3月 11日  
東日本電信電話株式会社 秋田支店

## 秋田大学 A I 研究推進センター内にローカル 5 G 検証環境を提供 ～産学連携による社会課題の解決に向けた共創～

国立大学法人秋田大学（学長 山本 文雄 以下、「秋田大学」）と東日本電信電話株式会社秋田支店（支店長 澤村 誉 以下、「NTT東日本 秋田支店」）は、2024年2月に締結した連携協定に基づき、県内で初となる産学共同のローカル5Gを活用した検証環境を構築・提供いたします。

### 1. 目的

企業や自治体等が周波数を取得できるローカル5Gは、地域や産業の個別ニーズに応じて、高度な無線環境を局所的に構築することができるため、地域の課題解決やイノベーションの創出に大いに貢献するものと期待されております。

一方で、ローカル5Gを活用して新たなビジネスやサービスを創出し、社会実装させるためには多様なプレーヤーと共同で検証する必要があります。

秋田大学とNTT東日本秋田支店ではこうした背景を踏まえ、ローカル5G検証環境を構築し、多様な産業プレーヤーとローカル5Gを活用したユースケースを共創し、それらの社会実装に向けた先端技術を育成する環境を提供します。

### 2. 秋田大学 A I 研究推進センター開所式でのブース出展

秋田大学 A I 研究推進センター開所式にて、ローカル 5 G 及び A I を使った各種展示を行います。

- 日 時 : 2024年3月18日(月) 13:30~14:30  
会 場 : 秋田大学手形キャンパス総合研究棟 (秋田市手形学園町1-1)  
展示内容 : ①将来的な労働力不足に備えた無人搬送車の走行デモ  
②ローカル5Gとその他通信との伝送速度の比較デモ  
③A I を活用した自動運転バス、ロボットアーム、AMR搬送システム  
A I 検品システムの動画紹介

### 3. 今後の展開

秋田大学、NTT東日本は今後、ローカル5G検証環境でのパートナー企業等と連携したユースケースの共創活動を通じて、ローカル5Gを活用したイノベーションの創出及び普及促進に取り組み、社会課題解決の貢献を目指します。